

---

# 樋口と狩りを天秤にかけよ

STORM

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

樋口と狩りを天秤にかけよ

### 【Nコード】

N9272N

### 【作者名】

STORM

### 【あらすじ】

友人に今冬発売の国民的ハンティングゲームを買うかどうか尋ねられた際に起こった実話。

## (前書き)

実話です。

樋口を賭けた壮絶なバトルストーリー (嘘)

約350万人の人はこれを読んだ結果激怒する可能性があるのでは  
注意ください。

ある日の休日、友人と遊んでいた時のこと。

オレは某カードをシャッフルし、準備を進めていた時に友人が急に質問を投げかけてきた。

「お前、年末あれ買う?」

あれとは某狩りゲーのことである。

密林でのランキングが未発売にもかかわらず、発売直後のモンスターをボールに閉じ込めて服従させる国民的ゲームを抜いて1位をキープしているほどの作品である。

もはや国民的ゲームへと昇華したそのゲームの新作が、今年の冬に発売する。

オレも中学時代は中学の連中全てを統率し、その頂点に立っていた神プレイヤーだったことを覚えている。

二年前はそうだった。

だが、今は。

「ああ、あれね。買う気ないわ」

「……は?」

「いやあ、なんかさ、敵もプレイヤーもスピード遅いし、シリーズ重なることに難易度下がっていつてるし」

今のお前は。

全く、そのゲームに対してやる気が起きない。

「なんでだよ。お前中学の時最強だったじゃん」

それは過去の話。

今じゃ、オレは……。

「すまんな、オレはそのゲームに構ってる暇はない」

「買えよ」

「樋口がない」

「小遣いはいるだろ」

オレの小遣いは月に樋口一葉のプロマイドが1枚である。

「オレの樋口は次のパックを買うのに消え去る」

パックとはカードのブースターである。

1パック5枚入りの150円。

それを1箱買うため、樋口はそれだけで野口の半分の価値へと変貌してしまう。

ちなみに1箱30パック入り。

つまり4500円。

「で、実際の理由は？」

実際の理由はそれじゃない。

先日運よく諭吉を入手したため、買うこと自体はできる。

だが、やる気が起きない。

「さつき言ったとおり、シリーズ重なることに難易度が下がってて詰まんないからだよ、それにモーションの使い回し多いし。あとネットに厨が多い」

「厨？」

この友人はパソコンを持っていない。

ああ、だから厨知らんか。

「気にするな。とりあえず、オレは何を言われても買わない。オレには、新境地を見つけたからだ」

オレの新境地。

それは、神。

神を、喰う。

モンスターを狩るなんてレベルが低いぜ。

オレが達した新境地、そのゲームの制作スタッフがユーザーの声をよく聞いてくれることがオレの関心を引いた。

「オレは神速、神撃、極限まで進化した狩りを求めているのだ！」  
そう、オレはもうあの頃には戻れない。

スタイリッシュな剣戟、自由性を求めた弾丸、自らを強化しようと

敵を喰らい。

オレはすっかりそのシステムに魅入られてしまっていた。

もう、自由度の低いゲームには戻れない。

もう、スピードの遅いゲームには戻れない。

そして追加ディスクなため、超お得プライスで提供してくれる。

ここまで素晴らしいゲームを、大半の人が見落としている。

恐らく理由は、難易度が高いから。

そのおかげで厨が寄ってこないため、個人的にはそれで良かったりするが。

「そうか。お前は……買わないんだな」

「あの頃のオレは既に過去の存在だ」

厨二的なセリフをさつきからずつと吐きながら述べた。

「樋口を賭ける程の価値を失ってしまったんだ、あのゲームは」

そしてもうひとつ。

「万人受けするゲームを作ったところで、高難易度を求める古参のユーザーは見限るだけなんだよ」

オレは新たな希望を、次なるゲームに託す。

頼んだ、続編では冷やしカレードリンクについて詳細を。

ついでに言つとエリック上田をもう一度出してください。

ちなみに友人が帰るとき、オレはさんざん罵倒された。

その日、1時間に1通は「買え」って言うメールが来る始末だった。

(後書き)

もう一度言いますけど実話です。  
もしかしたら自分自身が厨かもしれないです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9272n/>

---

樋口と狩りを天秤にかけよ

2010年10月9日03時31分発行